

# オープンキャンパス Q&A

## 比較文化学部

- ・ 比較文化学部について (Q1~Q17)
- ・ 入試について (Q18~Q20)
- ・ 大学生活について (Q21~Q23)

### Q1

比較文化学部について

比較文化学部の特徴は何ですか？

### A1

さまざまな専門分野の教員がいるため、学びの選択肢が広く、一つの研究対象について、複眼的な視点から学ぶことができます。

また、各地域について専門的に学べます。アメリカ・アジア・ヨーロッパの3地域に加え、各教員が専門とする国や、東アジア・東南アジア・EUといった地域的なまとまりについても学ぶことができます。

さらに、地域や国を超えて学ぶことができます。3コースに分かれた上で、受講者の関心に応じて、専攻する地域以外の授業も履修することができます。

選択できる第二外国語の種類が多いことも、比較文化学部で学んでいただく、大きなメリットです。

## Q2

比較文化学部について

比較文化学部では  
どのような授業が行われますか？

## A2

非常に幅広い内容の科目をたくさん開講しています。

詳しくはシラバスを参照してください。

<https://unipa.otsuma.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp>

## Q3

比較文化学部について

他学部との違いは何ですか？

## A3

文学・美術・映画・音楽などの様々な文化や、社会および政治・経済の仕組みについて、アジア・アメリカ・ヨーロッパと日本を比較し、地域を超えて学べるのは、比較文化学部だけです。

教員紹介をみてどんな専門分野の教員がいるか確認してみましょう。

<https://www.ccs.otsuma.ac.jp/faculty>

## Q4

比較文化学部について

比較文化学部と文学部  
コミュニケーション文化学科の  
違いは何ですか？

## A4

先ほどの質問にもお答えしたように、  
比較文化学部では、アジア・アメリカ・  
ヨーロッパという3つのコースに分かれ、  
文学・美術・映画・音楽・宗教・政治・  
経済・歴史などを幅広く学び、日本との  
比較を試みます。

他学部の教育内容については、そちら  
の案内を参照して下さい。

## Q5

比較文化学部について

アメリカ文化、アジア文化、ヨーロッパ  
文化の3つのコースでどのコースの希望  
者が多いですか？

## A5

かつてはヨーロッパ文化コースの希望  
者が多かったのですが、近年は3コースと  
もほぼ同じになっています。

## Q6

比較文化学部について

入学までに第二外国語を決めた方が良いでしょうか？

## A6

入学前に決めた方が目的をもって大学での学びに望むことができます。

## Q7

比較文化学部について

第三外国語はとれますか？

## A7

基本的には、履修しないように指導しています。

比較文化学部の場合、初年度の第二外国語が週2時間あり、それを真剣に身につけようとするのであれば、第三外国語まで学習する余裕はないと思います。

第二外国語の一部は、4年生まで学べるようになっており、複数の外国語に手を伸ばして、結局どれも身につかずに終わるよりも、第二外国語が本当に使えるレベルになるまで、しっかり身につけることが重要だと考えています。そのため、第二外国語では少人数クラスを保證しています。

## Q8

比較文化学部について

卒業論文はどのようなテーマを取りあげているのですか？

## A8

卒業生は、世界と日本の文化を比較した、とても幅広いテーマで卒業論文を書いています。例えば以下をご覧ください。

<https://www.ccs.otsuma.ac.jp/course/title>

また、学部HP上には、過去に遡って、卒業論文題目一覧を掲示する予定です。

## Q9

比較文化学部について

留学は必須ですか？

## A9

例年、希望する方は多くいらっしゃいますが、必須ではありません。留学しなかったからといって、学部での学びに影響することはありません。

## Q10

比較文化学部について

どのくらいの学生が留学しているのでしょうか？

## A10

年度によって異なります。

詳しくは以下を参照して下さい。

<http://www.otsuma.ac.jp/about/overseas/partner>

## Q11

比較文化学部について

留学に必要な要件は何ですか？

## A11

比較文化学部のサイトに募集要項を掲載しています。

<https://www.ccs.otsuma.ac.jp/overseasstudy>

留学を申請するには、GPAが2.3以上という要件があります。

## Q12

比較文化学部について

比較文化学部で行うのは、正規留学でしょうか？  
現地の学生と一緒に授業を受けるのでしょうか？

## A12

正規留学ではありません。もともと在学しながら正規留学が可能な大学は多くありません。本学にも交換留学プログラムはありますが、参加者はそれほど多くないのが実情です。

そのため、通常は、留学先の大学における、正規留学生の入学前準備コースや、語学留学生向けのコースに、入ります。

ただし、コース在学中に一定の基準を満たせば、一般の学生に交じって学部の授業も一部受講できるようになるケースが、多くあります。

## Q13

比較文化学部について

半年や一年の長期留学と、休み中の短期研修では、効果が違うのでしょうか？  
また、留学をまったくしない人と比べると、やはり学習効果が違うのでしょうか？

## A13

他のご質問にもお答えしたように、比較文化学部では、留学をしない方でも、十分な教養を身につけられるように、努めています。ただ、留学経験は、語学能力を大きく伸ばす機会になるのも、事実です。

また、留学時には、異なる環境下で自分の意見を主張する必要も生じるため、多くの留学生は、主体性や積極性を身につけて、頼もしい姿で、帰ってきてくれます。

短期留学生には、さらに勉強を重ねたいと、向学意欲を燃やす方が、多く見られます。

## Q14

比較文化学部について

留学によって卒業が遅れることはないでしょうか？  
単位認定はありますか？

## A14

単位認定はあります。帰国年度が4年次にならないければ、卒業に差し支えありません。4年次には必修授業であるセミナーや卒業論文が課されるため、卒業が翌年度になります。

## Q15

比較文化学部について

留学すると帰国後の履修はたいへんにならないでしょうか？

## A15

留学単位による読み替えを幅広く認めています。読み替えしない（本来の科目を必ず取って欲しい）必須科目があるので、帰国後は他の学生より少し忙しくなります。

自分の所属するコースとは別の地域に留学した場合は、認定の幅が狭まるので、もう少し忙しくなります。



## Q16

比較文化学部について

留学先ではどんな学生と一緒に学びますか？

## A16

留学先の大学により異なります。大妻生のみで学ぶ場合、日本の他大学の留学生と一緒に、各国の留学生と一緒に学ぶ場合など、さまざまです。

## Q17

比較文化学部について

比較文化学部で日本のことを学ぶことはできますか？

## A17

もちろん、日本を知り、世界を学ぶのが比較文化学部です。1年生で日本の文化について学ぶことができるカリキュラムとなっています。

## Q18

入試について

学校推薦型選抜のために何を準備すればいいですか？

## A18

募集要項をよく読み、比較文化学部のHPを確認しておきましょう。面接では、第二外国語やコース選択を含め、何を学びたいのか、その理由は何かなどをたずねることもあります。

日頃から、海外のさまざまな文化や出来事について関心を持ち、日本とは何が異なるのか、考える習慣を身につけて下さい。

## Q19

入試について

総合型選抜、学校推薦型選抜の面接ではどんなところを見られているのですか？

## A19

各入試により評価基準は異なります。募集要項をよく読んで下さい。

ただし、日本文化への関心を深く持っているか、他文化に開かれた好奇心を抱いているか、外国語習得意欲があるか、これまでの学習をどのように発展させて、比較文化学部で何を学び、その成果を将来どのように生かそうと展望しているのか、といった点は、どのような入試においても、重要です。

## Q20

入試について

学校推薦型選抜（同窓生子女推薦）を考えています。どのような準備が必要ですか？

## A20

学校推薦型選抜（同窓生子女推薦）は、募集要項のように「大妻コタカ記念会会員」の子女（孫・妹含む）が受験資格となっていますが、その他の学校推薦型選抜と同様、高校時代の実績などが重視されます。

語学の学習や、比較文化学部への志望動機などしっかり準備してください。

## Q21

大学生活について

共学の高校から入学を希望していますが、女子大学のメリットを教えてください。

## A21

女子大学では、一般に、異性の目を気にせず自由な発言ができ、女子学生が積極性を身につけてリーダーシップを養うことが可能です。

例えばグループワークをする際、共学校では男性がリーダーになってしまいがちで、性別にもとづく役割分担が何となく決まってしまうことが多いものですが、女子大にはそれがありません。

ことに大妻は、仲良く意見を交換し合える、親密さと開かれた空気がかねそなえた大学です。

## Q22

### 大学生活について

大学入学後は、クラブ活動・サークル活動なども行っていきたいのですが、勉強とのかねあいが心配です。大丈夫でしょうか？

## A22

大学公認の体育系・文系の部活動に加え、インターユニバーシティ（近隣大学との連携）サークルがたくさんあり、多くの学生が勉強にも、サークル活動にも、力を注いでいます。

楽しく頑張れば、両立させることは、十分に可能だと思います。

## Q23

### 大学生活について

東京の大学へ進学するために、学生寮へ入ることを考えています。学生寮について教えてください。

## A23

大妻女子大学には市ヶ谷に学生寮（加賀寮）があり、徒歩で大学に通えます。また食事も充実しています。

図書館など勉強するスペースがあり、学部や学年を超えた友人ができるのも魅力です。